

スキー教室を終えて

1月19日から21日にかけて、菅平高原スキー場でスキー教室が行われました。初めての宿泊行事、特にスキーを始めてやる人は不安もあったかと思いますが、大きなケガ等もなく無事に終わることができました。

初めはスキー靴を履くことから苦戦し、うまく止まることができずに転んだり、リフトからうまく降りることができなかつた人が多く見られましたが、3日目には転ぶこともなく安定して滑る姿が見られ、わずか3日間の実習でしたが、その間の上達ぶりに驚きました。

ホテルでの生活でも、予定通り進められるよう一人一人が考えながら行動している様子が見られました。室長を中心に、自分の係の仕事を意識しながら、協力して行動することができたおかげで、心配された初めての宿泊も無事にクリアすることができました。



スキー教室を終え、しおりや作文を読むと、「楽しいスキー教室だった。」「スキーをまたやってみたいと思った。」といった、スキー教室を楽しんだ様子を感じられる感想の他に、このような感想がみられました。

- スキーを通じて、班員やクラスメートとの仲を深められた。
- 班員とお互いにアドバイスしあったり、困っている人に声をかけることができた。
- 荷物を持ってもらったり、他の人のものを持ってあげたり、お互いに協力することができた。
- 集団行動の楽しさ、大切さを学んだ。
- 親がいない時の生活の大変さを学んだ。

それぞれ意識していなくても、このスキー教室を通して、さまざまな力を皆さんは身につけたことでしょう。この行事を通して、一段とたくましくなった姿が見られたことが何よりもうれしいです。



★裏面にスキー教室の生徒の作文と、来週の予定を掲載しています。

「絶景の雪景色の先に」

1年A組 HY

私が、今回のスキー教室で学んだこと、とても印象に残ったことは3つあります。全てスキー教室でしか感じられないと思っています。

1つ目は食事と入浴で学んだことです。今回のスキーの食事と入浴は、黙食、黙浴と少し制限されていることもありました。私は当初、なぜ黙っていなければいけないか疑問に思っていました。でも解答はすぐに気が付きました。私自身が思う解答としては、新型コロナウイルスの感染拡大にもつながってしまうからではないかとも思いましたが、本当は社会に出た時に黙食や黙浴ができていないとどうなのかを知り、我慢する気持ちも大切だということをつからせるためではないでしょうか。このようなことで私は、「我慢」が大切だと改めて学びました。

2つ目はスキー講習での学びです。私はスキー初心者で、最初は上手く滑れるかとても不安でした。周りの友人も初心者で自分だけおいていかれないかと思っていました。1日目は、止まることができず、転んでばかりでした。インストラクターの先生がいない間、転びそうになりもうダメだと思っていました。けれど、転びそうになっている私を助けてくれた友人がいました。友人も初心者なのに助けてくれたということがスキーを好きになるきっかけでした。自分が助けられたら、助けかえす。助け合いでスキーを徐々に滑れるようになり、すきになることができました。今回のスキーでは、助け合うということを学びました。

3つ目は、印象に残った「環境」についてです。今回のスキーで一番感じたことは、環境が整っていたことです。今回のようなことを体験できたことは、当たり前ではないと思います。携わってくれた方々に感謝し、今後の学校生活に取り組んでいきたいです。

【来週の予定】時差登校 8：25までに自席に着きましょう。

日にち		予 定
1月30日	月	全校朝礼 平常授業①～⑥
1月31日	火	平常授業①～⑥ わくわく自習室
2月 1日	水	平常授業①～⑤ 専門・中央委員会
2月 2日	木	平常授業①～⑥
2月 3日	金	平常授業①～⑥